

あの頃の津山

作楽神社の改築工事

(大正12〜15年)

写真提供・江見写真館



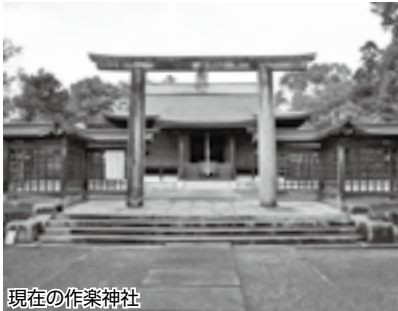
写真は、大正12〜15年にかけて行われた作楽神社(院庄)の改築工事と思われる。この工事は、地元選出の国会議員・平沼騏一郎を委員長とする保存会によって行われました。

写真中央の建物は建て替え中の拜殿で、その脇に牛と人夫らしき人がいることから、当時、資材の運搬には牛が使われていたようです。旧拜殿は、オツペケペー節で一世を風靡した俳優・川上音二郎によって明治40年に寄進されたものですが、この改築工事に併せて移設され、現在は神楽殿として使用されています。

作楽神社が建てられたこの地には、鎌倉〜室町時代にかけて、美作国の守護職の館があったといわれています。鎌倉時代末期、後醍醐天皇が隠岐へ配流される道中、この館を宿とします。その時、備前国の武将・児島高德が、天皇を救出するため、館に潜入を試みますがかなわず、天皇を慰めるための十字の詩を桜の木に刻んだ逸話は有名です。

作楽神社は、明治2年、国学者・道家大門たちが尽力する中、明治政府から許可を得た津山藩主・松平慶倫によって、後醍醐天皇を祭神、児島高德を配神として創建されました。

現在、高德が削ったとされる桜の木は残っていませんが、その木があったと伝わる場所には碑が建てられており、往時がしのべれます。



現在の作楽神社

図津山郷土博物館

☎22・4567



朝、目覚まし時計を使わずに起きてみよう。それには、規則正しい生活と寝室に太陽光が入るようにしておく、起きる時間に部屋が暖かくなるようにしておくのが良いらしい。早速、挑戦。よし、明日は7時に起きることにしよう。緊張しているのかな、眠れない……。結局、眠れずに7時。(G)

市役所がフェイスブックを始めましたね。私もデビューして「いいね」やコメントを入れられるようになりました。友だちの登録はまだ1人だけ。プロフィールには出身校だけ入れました。「いいね」を押す度、緊張しています。こんな調子でフェイスブックを使いこなせる日が来るのでしょうか。(G)

2月11日に開催される美作の国つやま検定。今年も受験します。昨年は、やる気満々で見事合格。しかし今回は、全く準備ができていません。一夜漬けで済むものではないし、試験日までそんなに日はないし、あー、あー、こんな時ドラえもんがやってきて、暗記パンを出してくれないかな。(修)

今月の表紙

笑顔ふくらむ

お餅もふくらむ

一宮保育所(一宮)

編集・発行(毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

http://www.city.tsuyama.lg.jp/



津山市ホームページPC版

☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから
http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください